教職課程　人文社会学類・子ども学類・学校教育学類・健康栄養学類

大学・高等専門学校を除く全ての国公私立学校（幼稚園を含む）の教員となるためには、教育職員免許状が必要です。教育職員とは、学校・幼稚園に勤務し、幼児・児童・生徒の健全な成長・発達に寄与し、学習指導・生徒指導・栄養指導等に従事する職員を示します。

【教職課程　幼稚園教諭課程（子ども学類）】
子ども学類においては幼稚園教諭の養成が主たる目的のひとつであることから、教育職員免許法で定める所定の科目および単位を修得した学生には、幼稚園教諭一種免許状が授与されます。

【教職課程　小学校教諭課程（学校教育学類）】
学校教育学類においては小学校教諭の養成が主たる目的であることから、教育職員免許法で定める所定の科目および単位を修得した学生には、小学校教諭一種免許状が授与されます。なお、小学校教諭免許状を取得するには介護等体験の証明書が必要となります。

【教職課程　中等教育課程（人文社会学類・学校教育学類）】
教育職員免許法で定める所定の科目および単位を修得した学生に対し、人文社会学類においては中学校教諭一種免許状〈社会〉〈英語〉・高等学校教諭一種免許状〈地理歴史〉〈公民〉〈英語〉、学校教育学類においては中学校教諭一種免許状〈国語〉〈保健体育〉が授与されます。なお、中学校教諭一種免許状を取得するには介護等体験の証明書が必要となります。

【教職課程　栄養教諭課程（健康栄養学類）】
健康栄養学類において教育職員免許法で定める所定の科目および単位を修得した学生には、栄養教諭一種免許状が授与されます。

【教職課程　特別支援学校教諭課程（学校教育学類）】
学校教育学類において教育職員免許法で定める所定の科目および単位を修得した学生には、特別支援学校教諭一種免許状が授与されます。なお、特別支援学校教諭一種免許状を取得するには小学校教諭の教職課程の履修が必要となります。

◇教職課程の履修

1．本学に教育職員免許法に基づく教職課程を置きます。
2．本学の教職課程において取得できる教育職員免許状は第１表（p.109）の通りです。
3．教職課程を履修する場合は、「教職課程履修願」を提出し、取得を希望する免許種を届けなければなりません。課程を放棄する場合は「放棄願」の提出が必要です。
4．教育職員免許状を取得しようとする学生は、本学学則第33条に基づき所定の単位を修得しなければなりません。
5．取得する免許状の種類による上記３の必要な最低取得単位数は第２表・第２表－２（p.109・110）の通りです。（基礎資格の取得方法は、本学を卒業するために必要な単位の取得方法の例によるものとします。）
6．教育職員免許状を取得しようとする学生は、取得希望免許の該当校種で教育実習を行わなければなりません。
教育実習の履修については、「教科及び教職に関する科目」において必要な科目を３年次までに修得していることと、履修した全科目のGPAが1.5以上であることが必要です。
必要な科目の詳細についてはガイダンスで説明します。
7．教職課程の履修については、資格取得のために諸経費がかかります。詳細はガイダンスで説明します。

◇介護等体験

1．小学校教諭一種免許状または中学校教諭一種免許状を取得しようとする学生は、介護等体験を行うことが必要です。本学では、学生指導の徹底を図るため、授業科目「介護等体験実習」（１単位）として単位化しています。
2．介護等体験は、指定された特別支援学校で２日間、社会福祉施設で５日間、合計７日間の体験となります。特別支援学校では、授業の補助や学校行事の手伝い、児童・生徒との交流等を行い、社会福祉施設では高齢者や障害者の介護、話し相手、身の回りのお世話、清掃等を行います。
3．介護等体験に際しては、大学が教育委員会および社会福祉協議会へ一括依頼します。手続きに関しては授業時に説明します。

◇履修カルテ

教員として必要な知識・技能を修得していくために履修カルテが作成されます。この履修カルテによって、履修状況を把握し、担当教員の指導を受けて努力を要する部分を研究改善し、教職課程全体を通じて教員としての資質能力を身につけ向上させていくことが必要です。履修カルテの詳細については別途説明します。

◇教育実習

免許状の種類	免許教科	授業科目	実習先・実習期間	実習時期
幼稚園教諭一種免許状	－	教育実習（幼）	幼稚園で４週間	４年後期
小学校教諭一種免許状	－	教育実習（小）Ａ	小学校で４週間	３年後期
小学校教諭一種免許状と中学校教諭一種免許状	－ 国語又は保体	教育実習（小）Ａ	小学校で４週間	３年後期
		教育実習（中）Ｂ	中学校で２週間	４年
中学校教諭一種免許状	国語又は保体	教育実習（中）Ａ	中学校で３週間	４年
中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状	社会又は英語と地歴又は公民、英語	教育実習（中・高）Ａ	中学校又は高等学校で３週間	４年前期
中学校教諭一種免許状	社会又は英語	教育実習（中・高）Ａ	中学校で３週間	４年前期
高等学校教諭一種免許状	地歴又は公民、英語	教育実習（高）	高等学校で２週間	４年前期
栄養教諭一種免許状	－	栄養教育実習（事前・事後の指導を含む。）	小中学校で１週間	４年
特別支援学校教諭一種免許状	－	教育実習（特支）	特別支援学校で２週間	４年

◇教育職員免許状申請

1．教育職員免許状の申請は、所定の科目と単位を修得し、かつ小学校教諭一種免許状・中学校教諭一種免許状の場合は介護等体験の証明書を得た者について、本学が一括して「教育職員免許状授与願書」等を宮城県教育委員会へ提出します。

2．申請手続きについてはガイダンスを行います。また、申請に関して申請手数料を徴収します。（一旦納入した申請料は、いかなる理由においても返還いたしません。）

◇教育職員免許状交付

教育職員免許状交付は学位記授与式を予定しています。なお、免許状は全ての都道府県で有効です。

◇教員採用試験

公立学校の教員になるためには、各都道府県及び政令指定都市が毎年行っている教員採用試験に合格しなければなりません。出願期間や試験日等は各都道府県及び政令指定都市で異なりますので、詳細はホームページで確認してください。

私立学校の教員になるためには、学校毎に行われる採用試験に合格しなければなりません。募集等は毎年必ず行われるわけではありませんので、早い時期からの情報収集が必要です。なお、都道府県によっては、都道府県単位の私立学校教職員志望者登録や、適性検査の受検を求められることもあります。詳細はホームページで確認してください。

◇教職課程センター

教職課程センターは、教職課程履修、教育実習、学校インターンシップ、教員就職等の支援を行います。センター室には教職に関わる資料が開架され、これらの資料を閲覧することができます。また、教員として豊富な職場経験をもつセンター員が在室し、教員採用試験対策講座や面接指導、教職相談等にも応じています。

◇教職課程カリキュラム表

1．〔第２表〕の各区分と合計の最低取得単位数を基に、〔第４表〕の履修計画を立てること。

2．〔第３表〕〔第４表〕について

・区分欄は、教養＝教養教育科目、専門＝専門教育科目、他（　）＝他学類専門教育科目、（　）内は開設学類の頭文字。

・取得免許における必選欄の○は必修、△は選択。

〔第１表〕　本学の教職課程において主に取得できる教育職員免許状

学群	学類	免許状の種類	免許教科
人文社会学群	人文社会学類	中学校教諭一種免許状	社会
		中学校教諭一種免許状	英語
		高等学校教諭一種免許状	地理歴史
		高等学校教諭一種免許状	公民
		高等学校教諭一種免許状	英語
心理・教育学群	子ども学類	幼稚園教諭一種免許状	－
	学校教育学類	小学校教諭一種免許状	－
		中学校教諭一種免許状	国語
		中学校教諭一種免許状	保健体育
		特別支援学校教諭一種免許状	－
健康栄養学群	健康栄養学類	栄養教諭一種免許状	－

〔第２表〕　教育職員免許法が定める最低修得単位数

所要資格／免許状の種類	基礎資格	大学において修得することを必要とする最低単位数		
		領域及び保育内容の指導法に関する科目	教職に関する科目 ※１	大学が独自に設定する科目
幼稚園教諭一種免許状	学士の学位	16	21	14

所要資格／免許状の種類	基礎資格	大学において修得することを必要とする最低単位数		
		教科及び教科の指導法に関する科目	教職に関する科目 ※１	大学が独自に設定する科目
小学校教諭一種免許状	学士の学位	30	27	2
中学校教諭一種免許状		28	27	4
高等学校教諭一種免許状		24	23	12

所要資格／免許状の種類	基礎資格	大学において修得することを必要とする最低単位数	
		栄養に係る教育に関する科目	教職に関する科目　※１
栄養教諭一種免許状	学士の学位 管理栄養士免許又は管理栄養士養成課程修了＋栄養士免許	4	18

所要資格／免許状の種類	基礎資格	大学において修得することを必要とする最低単位数	
		特別支援教育の基礎理論に関する科目	特別支援教育に関する科目　※２
特別支援学校教諭一種免許状	学士の学位	2	24

〔第２表－２〕　本学における最低修得単位数

所要資格／免許状の種類	基礎資格	本学において修得することを必要とする最低単位数		
		領域及び保育内容の指導法に関する科目	教職に関する科目 ※１	大学が独自に設定する科目等 ※
幼稚園教諭一種免許状	学士の学位	17	25	9

※領域及び保育内容の指導法に関する科目と教職に関する科目を含む。

所要資格／免許状の種類	基礎資格	本学において修得することを必要とする最低単位数		
		教科及び教科の指導法に関する科目	教職に関する科目 ※１	大学が独自に設定する科目等 ※
小学校教諭一種免許状	学士の学位	30	28	1
中学校教諭一種免許状		国語 30 社会 32 保体 34 英語 28	国語 28 社会 28 保体 28 英語 28	国語 1 社会 1 保体 1 英語 3
高等学校教諭一種免許状		地歴 24 公民 24 英語 24	地歴 24 公民 24 英語 24	地歴 11 公民 11 英語 11

※教科及び教科の指導法に関する科目と教職に関する科目を含む。

所要資格／免許状の種類	基礎資格	本学において修得することを必要とする最低単位数	
		栄養に係る教育に関する科目	教職に関する科目　※１
栄養教諭一種免許状	学士の学位 管理栄養士免許又は管理栄養士養成課程修了＋栄養士免許	4	25

所要資格／免許状の種類	基礎資格	本学において修得することを必要とする最低単位数	
		特別支援教育の基礎理論に関する科目	特別支援教育に関する科目　※２
特別支援学校教諭一種免許状	学士の学位 小学校、中学校、高等学校又は幼稚園教諭の普通免許状	2	25

※１　「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」
※２　「特別支援教育領域に関する科目」「免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目」

〔第３表〕　教育職員免許法施行規則第６６条の６に定める科目

人文社会学類

免許法施行規則に定める科目区分	単位数	授業科目名	単位数	区分	必選	開講学年
日本国憲法	2	憲法	2	専門	○	1
体育	2	健康・スポーツＡ（講義・実技）	1	教養	○	1
		健康・スポーツＢ（講義・実技）	1	教養	○	2
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	②	教養	○	1
情報機器の操作	2	情報リテラシー	②	教養	○	1
		情報処理演習	2	教養	○	1
免許取得のための最低修得単位数	8	必修（○科目合計）			10	

子ども学類

免許法施行規則に定める科目区分	単位数	授業科目名	単位数	区分	必選	開講学年
日本国憲法	2	法学概論（日本国憲法）	2	教養	○	1
体育	2	健康・スポーツＡ（講義・実技）	1	教養	○	1
		健康・スポーツＢ（講義・実技）	1	教養	○	2
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	②	教養	○	1
情報機器の操作	2	情報リテラシー	②	教養	○	1
		情報処理演習	2	教養	○	1
免許取得のための最低修得単位数	8	必修（○科目合計）			10	

学校教育学類

免許法施行規則に定める科目区分	単位数	授業科目名	単位数	区分	必選	開講学年
日本国憲法	2	法学概論（日本国憲法）	2	教養	○	1
体育	2	健康・スポーツＡ（講義・実技）	1	教養	○	1
		健康・スポーツＢ（講義・実技）	1	教養	○	2
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	②	教養	○	1
情報機器の操作	2	情報リテラシー	②	教養	○	1
		情報処理演習	2	教養	○	1
免許取得のための最低修得単位数	8	必修（○科目合計）			10	

健康栄養学類

免許法施行規則に定める科目区分	単位数	授業科目名	単位数	区分	必選	開講学年
日本国憲法	2	法学概論（日本国憲法）	2	教養	○	1
体育	2	健康・スポーツＡ（講義・実技）	1	教養	○	1
		健康・スポーツＢ（講義・実技）	1	教養	○	2
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	②	教養	○	1
情報機器の操作	2	情報リテラシー	②	教養	○	1
		情報処理演習	2	教養	○	1
免許取得のための最低修得単位数	8	必修（○科目合計）			10	

○：卒業必修単位

〔第４表－１〕子ども学類「幼稚園教諭一種」

免許法施行規則に定める科目区分等		授業科目	単位数	区分	必選	開講学年
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	子どもと健康	①	専門	○	1
		子どもと人間関係	①	専門	○	2
		子どもと環境	①	専門	○	2
		子どもと言葉	①	専門	○	1
		子どもと表現	①	専門	○	2
	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	保育内容指導法　健康	②	専門	○	1
		保育内容指導法　人間関係	②	専門	○	2
		保育内容指導法　環境	②	専門	○	2
		保育内容指導法　言葉	②	専門	○	1
		保育内容指導法　表現Ⅰ（造形）	②	専門	○	2
		保育内容指導法　表現Ⅱ（音楽）	②	専門	○	2
a．免許取得のための最低修得単位数		必　修（○科目合計）			17	
		選　択（△科目合計）			0	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	②	専門	○	1
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職概論（幼）	②	専門	○	1
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度	2	専門	○	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学（幼）	②	専門	○	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援保育	②	専門	○	2
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論（幼）	2	専門	○	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法論（幼）	②	専門	○	2
	幼児理解の理論及び方法	子どもの理解と保育	②	専門	○	1
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法（幼）	2	専門	○	3
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習指導（幼）	1	専門	○	4
		教育実習（幼）	4	専門	○	4
	教職実践演習	教職実践演習（幼）	2	専門	○	4
b．免許取得のための最低修得単位数		必　修（○科目合計）			25	
		選　択（△科目合計）			0	
c．大学が独自に設定する科目		子ども家庭福祉	②	専門	△	2
		児童文化	2	専門	△	2
		児童文学論	2	専門	△	1
		音楽Ⅰ（楽典）	1	専門	△	1
		ピアノ伴奏法	1	専門	△	1
		図画工作	2	専門	△	1
		体育	2	専門	△	3
免許取得のための最低修得単位数 （a＋b＋c）		必　修（○科目合計）			42	
		選　択（△科目合計）			9	
		合　　計			51	

○：卒業必修単位

〔第４表－２〕学校教育学類「小学校教諭一種」

免許法施行規則に定める科目区分等			授業科目	単位数	区分	必選	開講学年
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国　語（書写を含む。）	国語	2	専門	△	1
		社　会	社会	2	専門	△	2
		算　数	算数	2	専門	△	2
		理　科	理科	2	専門	△	2
		生　活	生活	2	専門	△	1
		音　楽	音楽Ⅰ	1	専門	△	1
			ピアノ伴奏法	1	専門	△	1
			合唱	2	専門	△	2
		図画工作	図画工作	2	専門	△	1
		家　庭	家庭	2	専門	△	3
		体　育	体育	2	専門	△	3
		外国語	外国語	2	専門	△	3
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	国　語（書写を含む。）	国語科教育法Ⅰ	2	専門	○	2
		社　会	社会科教育法	2	専門	○	3
		算　数	算数科教育法	2	専門	○	3
		理　科	理科教育法	2	専門	○	2
		生　活	生活科教育法	2	専門	○	2
		音　楽	音楽科教育法	2	専門	○	3
		図画工作	図画工作科教育法	2	専門	○	3
		家　庭	家庭科教育法	2	専門	○	3
		体　育	保健体育科指導法Ⅰ	2	専門	○	3
		外国語	外国語の指導法	2	専門	○	2
a．免許取得のための最低修得単位数			必　修（○科目合計）			20	
			選　択（△科目合計）			10	
教育の基礎的理解に関する科目		教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	専門	○	1
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職概論	2	専門	○	1
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度	2	専門	○	4
			学校と地域連携	2	専門	△	4
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学（小・中）	2	専門	○	2
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1	専門	○	3
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	専門	○	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法（小・中）	2	専門	○	2
		総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	専門	○	3
		教育の方法及び技術	教育の方法と技術	2	専門	○	2
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法					
		生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導の理論と方法	2	専門	○	3
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法（小・中）	2	専門	○	3
教育実践に関する科目		教育実習	教育実習指導（小）	1	専門	○	3
			教育実習（小）Ａ	4	専門	○	3
			教育実習（小）Ｂ	1	専門	※△	3
		学校体験活動	学校インターンシップ（小）	2	専門	△	2
		教職実践演習	教職実践演習（小・中）	2	専門	○	4
b．免許取得のための最低修得単位数			必　修（○科目合計）			28	
			選　択（△科目合計）			0	
c．大学が独自に設定する科目			学校安全と心理	2	専門	△	1
			介護等体験実習	1	専門	○	2
免許取得のための最低修得単位数（ａ＋ｂ＋ｃ）			必　修（○科目合計）			49	
			選　択（△科目合計）			10	
			合　　計			59	

※その他の隣接校種免許取得の場合（原則として非開講）

【中等教育課程（人文社会学類）】
〔第４表－３〕人文社会学類「中学校教諭一種（英語）」「高等学校教諭一種（英語）」

免許法施行規則に定める科目区分等			授業科目	単位数	区分	取得免許における必選 中一	取得免許における必選 高一	開講学年
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	英語学概論	2	専門	○	○	2
			英語史	2	専門	△	△	3
			英語音声学	2	専門	○	○	3
		英語文学	英米児童文学論	2	専門	△	△	4
			英米文学史	2	専門	○	○	2
			英米文学演習	2	専門	△	△	3
		英語コミュニケーション	英語コミュニケーション	2	教養	○	○	1
			英会話（リスニング・スピーキング）	2	教養	○	○	1
			英語ライティング	2	教養	△	△	1
			発展リーディング	2	教養	△	△	2
			Reading Ⅰ	2	専門	△	△	1
			Writing Ⅰ	2	専門	△	△	1
			Listening and Speaking Ⅰ	2	専門	△	△	1
		異文化理解	文化人類学	2	専門	△	△	1
			異文化理解	2	教養	△	△	2
			英語で学ぶ文化	2	教養	△	△	2
			イギリス文化論	2	専門	○	○	2
			アメリカ文化論	2	専門	○	○	2
			異文化コミュニケーション学	2	専門	△	△	3
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		英語科教育法Ⅰ	2	教職	○	○	2
			英語科教育法Ⅱ	2	教職	○	○	2
			英語科教育法Ⅲ	2	教職	○	△	3
			英語科教育法Ⅳ	2	教職	○	△	3
a．免許取得のための最低修得単位数			必　修（○科目合計）			22	18	
			選　択（△科目合計）			6	6	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		教育原理	2	教職	○	○	1
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論	2	教職	○	○	1
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度	2	教職	○	○	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	教職	○	○	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	教職	○	○	3
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	教職	○	○	3
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法		道徳教育の理論と方法	2	教職	○		3
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	教職	○	○	2
	特別活動の指導法							
	教育の方法及び技術		教育の方法と技術	2	教職	○	○	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法							
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導の理論と方法	2	教職	○	○	3
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法							
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法	2	教職	○	○	3
教育実践に関する科目	教育実習		教育実習指導（中・高）	1	教職	○	○	3
			教育実習（中・高）A	4	教職	○	○	4
			教育実習（中・高）B	1	教職	※△	※△	4
			教育実習（高）	2	教職		○	4
	学校体験活動							
	教職実践演習		教職実践演習（中・高）	2	教職	○	○	4
b．免許取得のための最低修得単位数			必　修（○科目合計）			28	24	
			選　択（△科目合計）			0	0	
c．大学が独自に設定する科目			道徳教育の理論と方法	2	教職		△	3
			介護等体験実習	1	教職	○		3
免許取得のための最低修得単位数（a＋b＋c）			必　修（○科目合計）			51	42	
			選　択（△科目合計）			8	17	
			合　　計			59	59	

※　その他の隣接校種免許取得の場合（原則として非開講）

〔第４表－４〕学校教育学類「中学校教諭一種（国語）」

免許法施行規則に定める科目区分等			授業科目	単位数	区分	必選	開講学年
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	国語学概論	2	専門	○	1
			国語音声文体論	2	専門	△	2
			国文法論	2	専門	△	1
			国語史論	2	専門	△	2
			言語論	2	他(人文)	△	2
		国文学（国文学史を含む。）	国文学概論	2	専門	○	1
			国文学講読Ⅰ（古典）	2	専門	△	2
			国文学講読Ⅱ（近現代）	2	専門	△	2
			国文学演習Ⅰ（古典）	2	専門	△	2
			国文学演習Ⅱ（近現代）	2	専門	△	2
			国文学史Ⅰ（古典）	2	専門	△	3
			国文学史Ⅱ（近現代）	2	専門	△	3
			近現代詩演習	2	専門	△	3
			国文学研究法	2	専門	△	4
			児童文学論	2	専門	△	1
		漢文学	漢文学概論	2	専門	○	1
			漢文学Ⅰ（文学）	2	専門	△	1
			漢文学Ⅱ（思想）	2	専門	△	2
		書道（書写を中心とする）	書道	2	専門	○	1
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		国語科教育法Ⅰ	2	専門	○	2
			国語科教育法Ⅱ	2	専門	○	2
			国語科教育法Ⅲ	2	専門	○	3
			国語科教育法Ⅳ	2	専門	○	3
a．免許取得のための最低修得単位数			必　修（○科目合計）			16	
			選　択（△科目合計）			14	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		教育原理	2	専門	○	1
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論	2	専門	○	1
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度	2	専門	○	4
			学校と地域連携	2	専門	△	4
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学（小・中）	2	専門	○	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	専門	○	3
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	専門	○	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法		道徳教育の理論と方法（小・中）	2	専門	○	2
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	専門	○	3
	特別活動の指導法						
	教育の方法及び技術		教育の方法と技術	2	専門	○	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法						
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導の理論と方法	2	専門	○	3
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法（小・中）	2	専門	○	3
教育実践に関する科目	教育実習		教育実習指導（中）	1	専門	○	4
			教育実習（中）A	4	専門	○	4
			教育実習（中）B	1	専門	※△	4
	教職実践演習		教職実践演習（小・中）	2	専門	○	4
b．免許取得のための最低修得単位数			必　修（○科目合計）			28	
			選　択（△科目合計）			0	
c．大学が独自に設定する科目			学校安全と心理	2	専門	△	1
			介護等体験実習	1	専門	○	2
免許取得のための最低修得単位数（a＋b＋c）			必　修（○科目合計）			45	
			選　択（△科目合計）			14	
			合　　計			59	

※小・中免許取得の場合

〔第４表－５〕学校教育学類「中学校教諭一種（保健体育）」

免許法施行規則に定める科目区分等			授業科目	単位数	区分	必選	開講学年
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技	体つくり運動	1	専門	○	1
			スポーツ方法Ａ（陸上競技・ソフトボール）	1	専門	○	1
			スポーツ方法Ｂ（バレーボール・バスケットボール）	1	専門	○	1
			スポーツ方法Ｃ（バドミントン・卓球）	1	専門	○	2
			スポーツ方法Ｄ（サッカー・ソフトテニス）	1	専門	○	2
			スポーツ方法Ｅ（器械運動・ダンス）	1	専門	○	2
			スポーツ方法Ｆ（武道）	1	専門	○	2
			スポーツ方法Ｇ（水泳）	1	専門	○	1
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）	スポーツ原理	2	専門	○	2
			スポーツ史	2	専門	○	3
			スポーツ心理学	2	専門	○	2
			スポーツ経営管理学	2	専門	○	2
			スポーツ社会学	2	専門	○	2
			スポーツ方法学	2	専門	○	2
			生涯スポーツ論	2	専門	△	2
		生理学（運動生理学を含む。）	スポーツ生理学	2	専門	○	3
		衛生学及び公衆衛生学	衛生学及び公衆衛生学	2	他（子ども）	○	3
		学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	学校保健	2	専門	○	1
			子どもの保健	2	他（子ども）	△	1
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		保健体育科指導法Ⅰ	2	専門	○	3
			保健体育科指導法Ⅱ	2	専門	○	3
			保健体育科指導法Ⅲ	2	専門	○	3
			保健体育科指導法Ⅳ	2	専門	○	3
ａ．免許取得のための最低修得単位数			必　修（○科目合計）			34	
			選　択（△科目合計）			0	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		教育原理	2	専門	○	1
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論	2	専門	○	1
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度	2	専門	○	4
			学校と地域連携	2	専門	△	4
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学（小・中）	2	専門	○	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	専門	○	3
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	専門	○	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法		道徳教育の理論と方法（小・中）	2	専門	○	2
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	専門	○	3
	特別活動の指導法						
	教育の方法及び技術		教育の方法と技術	2	専門	○	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法						
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導の理論と方法	2	専門	○	3
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法（小・中）	2	専門	○	3
教育実践に関する科目	教育実習		教育実習指導（中）	1	専門	○	4
			教育実習（中）Ａ	4	専門	○	4
			教育実習（中）Ｂ	1	専門	※△	4
	教職実践演習		教職実践演習（小・中）	2	専門	○	4
ｂ．免許取得のための最低修得単位数			必　修（○科目合計）			28	
			選　択（△科目合計）			0	
ｃ．大学が独自に設定する科目			学校安全と心理	2	専門	△	1
			介護等体験実習	1	専門	○	2
免許取得のための最低修得単位数（ａ＋ｂ＋ｃ）			必　修（○科目合計）			63	
			選　択（△科目合計）			0	
			合　　計			63	

※小・中免許取得の場合

〔第４表－６〕人文社会学類「中学校教諭一種（社会）」「高等学校教諭一種（地理歴史）」

免許法施行規則に定める科目区分等				授業科目	単位数	区分	取得免許における必選		開講学年
		中学校一種（社会）	高等学校一種（地理歴史）				中一	地歴	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史	日本史	日本近代史とキリスト教	2	教養	△	△	2
				日本史概論	2	専門	○	○	1
			外国史	世界史概論	2	専門	○	○	1
				日本とアジアの歴史	2	教養	△	△	1
		地理学（地誌を含む）	地誌	文化人類学	2	専門	△	○	1
				地誌概論	2	専門	○	○	3
				民族学	2	専門	△	○	3
			人文地理学・自然地理学	地域文化論	2	専門	△	△	1
				地域史	2	専門	△	△	2
				人文地理学概論	2	専門	○	○	2
				自然地理学概論	2	専門	○	○	2
				地域農業論	2	専門	△	△	2
				観光論	2	専門	△	△	2
				森林保全論	2	専門	△	△	3
				世界遺産論	2	専門	△	△	1
		「法律学、政治学」		政治学	2	専門	○		1
				行政学	2	専門	△		2
				地方自治論	2	専門	△		3
				国際政治経済論	2	専門	△		1
				法学（国際法含む）	2	専門	○		1
				民法Ⅰ	2	専門	△		2
				民法Ⅱ	2	専門	△		2
				労働法	2	専門	△		3
				消費者法	2	専門	△		3
		「社会学、経済学」		社会学	2	専門	○		1
				地域社会論	2	専門	△		1
				教育社会学	2	専門	△		2
				ミクロ経済学	2	専門	○		1
				マクロ経済学	2	専門	△		2
				日本経済論	2	専門	△		3
				地方財政論	2	専門	△		3
		「哲学、倫理学、宗教学」		キリスト教概論Ⅰ	1	教養	△		①
				キリスト教概論Ⅱ	1	教養	△		①
				哲学	2	教養	○		1
				倫理学	2	教養	○		1
				ユダヤ・キリスト教思想	2	専門	○		3
				ディアスポラ学	2	専門	△		3
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	2	教職	○	○	2
				社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	2	教職	○	○	2
				社会科・公民科教育法Ⅰ	2	教職	○		3
				社会科・公民科教育法Ⅱ	2	教職	○		3
a．免許取得のための最低修得単位数				必修（○科目合計）			32	18	
				選択（△科目合計）			0	6	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想			教育原理	2	教職	○	○	1
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む）			教職概論	2	教職	○	○	1
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び及び学校安全への対応を含む）			教育制度	2	教職	○	○	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学	2	教職	○	○	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育論	1	教職	○	○	3
	教育課程の意義及び編成の方針（カリキュラム・マネジメントを含む）			教育課程論	2	教職	○	○	3
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法			道徳教育の理論と方法	2	教職	○		3
	総合的な学習の時間の指導法			特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	教職	○	○	2
	特別活動の指導法								
	教育の方法及び技術			教育の方法と技術	2	教職	○	○	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法								
	生徒指導の理論及び方法			生徒・進路指導の理論と方法	2	教職	○	○	3
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法								
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			教育相談の理論と方法	2	教職	○	○	3
教育実践に関する科目	教育実習			教育実習指導（中・高）	1	教職	○	○	3
				教育実習（中・高）A	4	教職	○	○	4
				教育実習（中・高）B	1	教職	※△	※△	4
				教育実習（高）	2	教職		○	4
	学校体験活動								
	教職実践演習			教職実践演習（中・高）	2	教職	○	○	4
b．免許取得のための最低修得単位数				必修（○科目合計）			28	24	
				選択（△科目合計）			0	0	
c．大学が独自に設定する科目				道徳教育の理論と方法	2	教職		△	3
				介護等体験実習	1	教職	○		3
免許取得のための最低修得単位数（a＋b＋c）				必修（○科目合計）			61	42	
				選択（△科目合計）			0	17	
				合　計			61	59	

※その他の隣接校種免許取得の場合（原則として非開講）

〔第４表－７〕人文社会学類「中学校教諭一種（社会）」「高等学校教諭一種（公民）」

免許法施行規則に定める科目区分等				授業科目	単位数	区分	取得免許における必選		開講学年
		中学校一種（社会）	高等学校一種（公民）				中一	公民	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史		日本近代史とキリスト教	2	教養	△		2
				日本とアジアの歴史	2	教養	△		1
				日本史概論	2	専門	○		1
				世界史概論	2	専門	○		1
		地理学（地誌を含む）		文化人類学	2	専門	△		1
				地域文化論	2	専門	△		1
				地域史	2	専門	△		2
				人文地理学概論	2	専門	○		2
				自然地理学概論	2	専門	○		2
				地誌概論	2	専門	○		3
				地域農業論	2	専門	△		2
				観光論	2	専門	△		2
				森林保全論	2	専門	△		3
				民族学	2	専門	△		3
				世界遺産論	2	専門	△		1
		「法律学、政治学」	政治学（国際政治を含む）	政治学	2	専門	○	○	1
				行政学	2	専門	△	△	2
				地方自治論	2	専門	△	△	3
				国際政治経済論	2	専門	△	△	1
			法律学（国際法を含む）	法学（国際法含む）	2	専門	○	○	1
				民法Ⅰ	2	専門	△	△	2
				民法Ⅱ	2	専門	△	△	2
				労働法	2	専門	△	△	3
				消費者法	2	専門	△	△	3
		「社会学、経済学」	「社会学、経済学（国際政治を含む）」	社会学	2	専門	○	○	1
				地域社会論	2	専門	△	△	1
				教育社会学	2	専門	△	△	2
				ミクロ経済学	2	専門	○	○	1
				マクロ経済学	2	専門	△		2
				日本経済論	2	専門	△		3
				地方財政論	2	専門	△		3
		「哲学、倫理学、宗教学」	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	キリスト教概論Ⅰ	1	教養	△	△	①
				キリスト教概論Ⅱ	1	教養	△	△	①
				哲学	2	教養	○	○	1
				心の科学	2	教養		○	1
				倫理学	2	教養	○	○	1
				ユダヤ・キリスト教思想	2	専門	○	○	3
				ディアスポラ学	2	専門	△	△	3
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	2	教職	○		2
				社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	2	教職	○		2
				社会科・公民科教育法Ⅰ	2	教職	○	○	3
				社会科・公民科教育法Ⅱ	2	教職	○	○	3
a．免許取得のための最低修得単位数				必修（○科目合計）			32	20	
				選択（△科目合計）			0	4	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想			教育原理	2	教職	○	○	1
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む）			教職概論	2	教職	○	○	1
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び及び学校安全への対応を含む）			教育制度	2	教職	○	○	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学	2	教職	○	○	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育論	1	教職	○	○	3
	教育課程の意義及び編成の方針（カリキュラム・マネジメントを含む）			教育課程論	2	教職	○	○	3
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法			道徳教育の理論と方法	2	教職	○		3
	総合的な学習の時間の指導法			特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	教職	○	○	2
	特別活動の指導法								
	教育の方法及び技術			教育の方法と技術	2	教職	○	○	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法								
	生徒指導の理論及び方法			生徒・進路指導の理論と方法	2	教職	○	○	3
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法								
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			教育相談の理論と方法	2	教職	○	○	3
教育実践に関する科目	教育実習			教育実習指導（中・高）	1	教職	○	○	3
				教育実習（中・高）A	4	教職	○	○	4
				教育実習（中・高）B	1	教職	※△	※△	
				教育実習（高）	2	教職		○	4
	学校体験活動								
	教職実践演習			教職実践演習（中・高）	2	教職	○	○	4
b．免許取得のための最低修得単位数				必修（○科目合計）			28	24	
				選択（△科目合計）			0	0	
c．大学が独自に設定する科目				道徳教育の理論と方法	2	教職		△	3
				介護等体験実習	1	教職	○		3
免許取得のための最低修得単位数（a＋b＋c）				必修（○科目合計）			61	44	
				選択（△科目合計）			0	15	
				合　計			61	59	

※その他の隣接校種免許取得の場合（原則として非開講）

〔第４表－８〕健康栄養学類「栄養教諭一種」

免許法施行規則に定める科目区分等		授業科目	単位数	区分	必選	開講学年
栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	学校食教育論	2	教職	○	3
	幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項					
	食生活に関する歴史的及び文化的事項					
	食に関する指導の方法に関する事項	学校食教育法	2	教職	○	4
a．免許取得のための最低修得単位数		必　修（○科目合計）			4	
		選　択（△科目合計）			0	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	教職	○	1
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職概論	2	教職	○	1
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度	2	教職	○	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	教職	○	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1	教職	○	3
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	教職	○	3
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	道徳教育の理論と方法	2	教職	○	3
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	教職	○	2
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育の方法と技術	2	教職	○	2
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論（栄）	2	教職	○	3
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法	2	教職	○	3
教育実践に関する科目	栄養教育実習	栄養教育実習（事前・事後の指導を含む。）	2	教職	○	4
	教職実践演習	教職実践演習（栄）	2	教職	○	4
b．免許取得のための最低修得単位数		必　修（○科目合計）			25	
		選　択（△科目合計）			0	
免許取得のための最低修得単位数（a＋b）		必　修（○科目合計）			29	
		選　択（△科目合計）			0	
		合　　計			29	

〔第４表－９〕学校教育学類「特別支援学校教諭一種」

免許法施行規則に定める科目区分		授業科目	単位数	区分	必選	開講学年
特別支援教育の基礎理論に関する科目		特別支援教育総論	2	専門	○	1
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害者の心理・生理・病理	2	専門	○	1
		肢体不自由者の心理・生理・病理	2	専門	○	1
		病弱者の心理・生理・病理	2	専門	○	1
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的障害教育論Ⅰ	2	専門	○	2
		知的障害教育論Ⅱ	2	専門	○	2
		肢体不自由教育論Ⅰ	2	専門	○	2
		肢体不自由教育論Ⅱ	2	専門	○	2
		病弱教育論	2	専門	○	2
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	視覚障害教育総論	2	専門	○	3
		聴覚障害教育総論	2	専門	○	3
		ＬＤ等教育総論	2	専門	○	2
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		教育実習指導（特支）	1	専門	○	4
		教育実習（特支）	2	専門	○	4
免許取得のための最低修得単位数		必　修（○科目合計）			27	